



いまだきの子どもと発達



神戸大学大学院
人間発達環境学研究所
ひらかわ かずみつ
平川 和文

いまだきの子どものころとからだについて時系列でみると、1965年頃「背筋力・持久力が落ちた」と体力の低下が問題となり、1975年頃には無気力、無関心、無感動な子どもの増加が取り上げられた。続いて1980年代後半になると、体力の低下が跳力・投力等運動能力の低下として現れ、またころの問題は非行、家庭内・学校内暴力、不登校の増加と個の問題から対人・対社会的問題となってきた。これらの問題解決に向けて2000年頃には生きる力の育成が課題となりゆとり教育、総合学習が導入されたが、学力低下の問題が起き、知識・競争重視の体制へと逆戻りした。そして現在では、学力・体力の二極化問題やいじめ、凶悪事件の低年齢化、肥満、薬物等、子どものころとからだの危機が指摘されている。

このようにみると、からだの変化とところの問題には関連がみられ、子どものころとからだの課題は切り離して考えられないことがわかる。このようなころとからだの変化は子どもが望んだものではない。大人の都合でつくられてきた自然・社会・文化的環境への適応の結果に他ならない。近年このような傾向はさらに低年齢化し、体力的には幼児期から始まっているとの報告もある。

体力の二極化の進展は、スポーツ障害や肥満児の増加など健康問題として捉えられがちだが、発達の視点からは別の問題がある。体力に優れた一極の子どもは、持って生まれた身体能力をフルに発揮した結果とも考えられる。一方、体力の劣った一極の子どもは、潜在的な身体能力を十分に発揮することなく大人になっているとも考えられる。兵庫県の両極の子どもの体力の間には約40～70%の差がみられる。もったいない話だ。発達とは「個の多様な潜在的な能力をフルに引き出す」ことである。

身体運動はからだの発達だけでなく、多様な対人・対社会的経験の場を生み出す。霊長類学者の河合雅雄氏は、「霊長類は集団生活をし、すぐれて社会性に富む。しかし大切なことは、豊かな社会性は生得的に内包しているが、その正常な発現は学習によることを深く認識することだ」と指摘している。新たな学び・経験がころとからだの発達には必要だ。

いまだきの子どもは、スイミング世代が多い。昔に比べてみんな泳ぎはうまい。プールは水がきれいで、足が立ち、波もなく、塩辛くもない。コーチも近くで指導してくれる。まさに人工的環境だ。しかし、こ

のような環境で育った水泳の達人が、海での遠泳でパニックになるという。海は濁り、目は沁みる、足は立たない、波もあれば岩・海藻もあり、もちろん塩辛く、指導者は近くにいない。自然の環境だ。プールで学んだものが海で生かしてこそ学びであり、本当の知となる。

このような子どものころとからだの危機に対して、自然体験・野外活動のもつ力の大きさが期待されて久しい。しかし、まだまだそのような青少年活動プログラムは質・量とも充実しているとは思えない。登山・マラソン大会などの学校行事は減る傾向にある。また近年の考え方・価値観の多様化は、そのような活動をさらに難しくしていると感じる。時代の流れで仕方ないのだろうか。私は、ころとからだの原石を磨く場を提供する青少年活動の更なる充実をYMCAに期待する。

ひらかわ かずみつ
平川 和文

神戸大学発達科学部教授、医学博士 人間行動学科長、神戸大学発達科学部附属住吉小・中学校長を経て、現在神戸大学大学院人間発達環境学研究所教授。専門は運動処方論・体力・トレーニング科学。研究テーマは「子どもの体力の二極化解消、競技力の向上、高齢者の健康運動プログラム」、現在兵庫県スポーツ推進審議会委員、こどもの体力向上支援委員会委員長、ひょうごジュニアスポーツアカデミー実行委員会委員長、元くずはYMCAリーダー、大阪YMCA体育研究所スタッフ、学校法人大阪YMCA学院 理事

INDEX

・いまだきの子どもと発達	1P
・ボランティア活動紹介 ～こども園事業～	
・YMCA フレッシュ	2P
・グローバルフェスタ報告	
・Kids English Camp in Mt.Rokko	3P
・海外インターンシップ生 インタビュー	
・世界 YMCA 大会参加報告	
・Springfield College 大阪 YMCA 来訪	4P
・告知 (・チャリティラン ・大阪 YMCA 大会 2014・早天祈祷会)	5P
・食育コラム・会員・賛助会員	
・ユースリーダー安全支援金寄付者一覧	6P

大阪YMCAの使命

- 大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。
- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代のひとびとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭・地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人のひとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

発行：末岡祥弘 編集：大阪YMCA広報室
〒550-0001 大阪市西区上瓦町1-5-6
TEL 06-6441-0894 FAX 06-6441-0297
大阪YMCAのホームページでその他の情報をご覧いただけます。
URL: <http://www.osakaymca.or.jp/>

大阪YMCA

ボランティア活動紹介

～こども園事業～

YMCA松尾台こども園 園長 やま ち ひろのぶ
山地 弘伸

YMCA幼稚園は、39年前から子どもたちの健康教育に取り組んできました。幼児教育の姿は、幼児期の「からだ」の発達に重点を置き、身体の発達から心の発達へと進んでいくものであるという教育理念の基、未来を担う子どもたちの育成に努めてまいりました。そして、一人ひとりが神さまに与えられている賜物を十分に発揮しながら、Spirit(信じることのできる人)、Mind(ゆたかな、思いやりの心をもつ人)、Body(すこやかに生きる人)の調和のとれた人に育つことを願って、子どもたちを家庭から、そして神さまからお預かりする気持ちでキリスト教保育を中心に展開してきました。

しかしながら、コミュニティーの弱体化が深刻になっている現在において、YMCAが地域社会の中でいかに人と人とを繋ぐ場となることができるかが大きな課題となっています。子育ての悩みを抱え、相談する

ことのできない環境にある人のそばに寄り添う活動がなされることごとくも重要です。地域に根ざしたYMCAとして、この「関わり」にどう取り組むかが早急に求められています。園と地域や保護者の関係において、支援する側とされる側といった考え方から脱却し、今後はいかに協働で子育てをするパートナーとなり、ともに成長していくことができるかが大切になります。

具体的な取り組みとして、今年度、松尾台・しるがねこども園では、全保護者に対して「保育ボランティア体験」を実施しました。保護者に実際の保育に参加してもらうことで多くの子どもに触れ、発達の様子や段階を知り、子どもの世界を感じ、子ども理解を広げ、深めていただく機会となりました。

これからも新たな取り組みにチャレンジしながら、家庭・地域・ボランティアの方とともに、子どもたちを将来力強く大きく世界に羽ばたくことのできる人に育てていきます。



YMCA教育・子育て相談を引き受けて

北摂YMCA地域活動委員、YMCA教育・子育て相談員 とりやま
鳥山 すづよ

YMCA松尾台幼稚園一期生の母親です。その後、YMCAでは地域活動委員をしておりましたが、2008年に松尾台・しるがね幼稚園の保護者に対し、教育や子育て・育児相談を受けるよう依頼がありました。「たくさんの子どもと関わってきた経験とあなたの言葉で」と促され、まずは保護者の良き聞き手になるうと引き受けました。

毎月希望者を募って、一人1時間ぐらいで相談に応じています。その際、相談を受ける前に子どもの様子を見に行くことにしています。遊んでいる様子を見たり、ちょっと話しかけたり、時には担任から日頃の様子を聞きながら自分の眼で子どもを感じてから相談に応じるようにしています。

相談では、保護者が思っていることや困っていること、また、どのように子どもと関わっているのかを出来るだけ具体的に教えていただくことにし

ています。その上で一緒に考え、「こんな方法もあるのでは…」とサジェッションしたりしながら、目指す方向を保護者自身が見出せるように努めています。ダメだしばかりするのではなく、今子どもの心やからだがかどんな状態にあるのか、感性が鋭く好奇心に満ちた活動的なこの時期の特性を知って丸ごと受け止め見守る必要があること、大きな心でワイドにみることなど具体例を踏まえて話しています。保護者も話すことによって気持ちの整理ができ、我子の見方が少し変わったりします。相談中、涙を流す人も多いです。

「子育てはしんどい」だけでなく、エネルギーで日々成長していく子どもと生活できる環境に感謝し、楽しんでほしいです。そして、「子どもの姿や活動の中に望ましい動きや態度を見つけて、認めてやってほしい」と願っています。

私は、疲れますが、常にパワーをもらって若返っていく気分です。



YMCA フレッシュ

YMCA松尾台こども園・北摂YMCA むらた ひろき
スタッフ 村田 大樹



体育活動を通して

私は今年度からYMCA松尾台こども園・北摂YMCAのスタッフとなりました。YMCAユースボランティアリーダーとして小学生のバスケットボールクラスを経験していたため、幼児体育に関わることができるという期待が大きく膨らんでいました。しかし実際に園児と体育活動を行ってみると、小学生とは違い集中力が短く、一人ひとり興味の違い、子どもの気を引くことばかりに必死になる毎日でした。

しかし、年中組(4歳児)の徒競走をしていた時、この考えが間違っていたことに気づきました。走る本人たちはもちろん一生懸命でしたが、順番を待っている子どもたちが「○○ちゃんはやーい!」「○○くんがんばれー!」

などの声援を大きな声で送っていました。その時、私は活動をいかにスムーズに進めていくかで頭がいっぱいで、「応援してあげてね」の一言を忘れていたことに気づかされました。

小さな子どもたちが大人に言われなくても、自分たちの目を見た状況や光景を素直に受け容れ、行動する姿に驚きと喜びを感じました。体育活動を通して、ルールの理解や技術の体得だけでなく、子どもたちが励まし合い、協力することの大切さを伝えていくことも重要だと思いました。

これから、幼児に関わる一人の大人として、子どもたち1人ひとりの



「やってみよう」という気持ちを大切に、大きく育てていきたいと思っています。そして、自分自身も子どもたちと一緒に命を輝かせながら、笑顔で園生活を送る中で成長できるように精一杯チャレンジしていきたいと思っています。

“Piece/PeaceMaker”として

～グローバルフェスタ報告～

大阪YMCA インターナショナルスクール スタッフ たてやま ひでのぶ
立山 英展



7月11日(金)～13日(日)、六甲山YMCAにて日本の他、香港、台湾、韓国、シンガポール、アメリカからのユース55名が一同に会し、グローバルフェスタが開催されました。今回が初めての試みとなりましたが、テーマは“Yes! One [pi:s]”。人種、民族、宗教と

いった地球上の「Piece(個性)」が互いの違いを受入れることによって「Peace(平和)」を実現したいという願いが込められています。多国籍の参加者からなるグループワークでは、交流を深めると同時に価値観や考え方等、互いの違いを体感しました。

「平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。」(マタイによる福音書5章9節)聖書にはこのように記されています。「平和」は決して無条件に与えられるものではなく、私たちが絶えず求め、また、行動することによって初めて享受できるものであるということを謳っていま



す。「平和を実現する人々」が“Peace Maker”と英訳されることから、文字通り私たちに「平和をつくり出す」責務があるということがわかります。

では、一体、「平和」はどのようにしてつくり出すことができるのでしょうか? 今回のテーマにある同じ【pi:s】という音を持つ「Piece(個性)」と「Peace(平和)」は一見、無縁な異義語のように思われます。しかし、互いの違いを受け入れ、個性を尊重することができる人を“Piece Maker”と呼ぶならば、それはまさに一つの平和な世界をつくり出す“Peace Maker”を意味しているのではないのでしょうか?

大阪YMCAでは今、地球規模の視野を持って、足元から行動することができるグローバルユースの育成を目指しています。今夏、六甲山の地で蒔かれた平和の種が若い“Piece/Peace Maker”の手を通して、この地球上で大きな実を結んでいくことを切に願います。



ユースによってデザインされたグローバルフェスタのロゴマーク

Kids English Camp in Mt. Rokko

ランゲージセンター・英語幼稚園 スタッフ うえとこ あつし
上床 敦

7月20日(日)・21日(月・祝)に六甲山YMCAにて、ウエルネスセンターとランゲージセンター共催でKids English Campを実施し、小学生29名の参加がありました。ランゲージセンターの外国人講師3名、アシスタント3名の他、ホノルル・サンフランシスコ・韓国・台湾などから国際インターン生7名も参加し、自然体験と英語学習を目的とした様々な活動を行いました。また、メトロポリタン・ミネアポリスYMCAでプログラム開発責任者やキャンプ場のディレクターとして長年勤務されたRodosovich夫妻のご協力を得て、Outdoor Games, Campfire, Canoeingなどを実際に進行していただきました。

初日の夜に広場でOutdoor Gameをした後、皆で手をつなぎ、少し暗くなった中ランタンに照らされた山道を黙って下り、Campfire場まで移動しました。子ども達は“Why shouldn't I speak?”などと言いながら移動していました。Campfireでは暗い中で火の灯りだけを見つめながら、インターン生による英語劇で六甲山の歴史を学んだり、簡単なゲームをしたりしました。黙って暗い山道を手をつないで下ったり、Campfireの火だけを頼りにして話を聞くのは、興奮した体や気持ちを静める儀式だったようです。



子どもの頃に友達と一緒に自然の中で様々な体験や遊びをすることで、社会性や自己効力感が育つと言われています。今回のキャンプが子どもたちにとってそのような体験の一つとなったこと、外国人講師や国際インターン生との交流を通して異文化や英語への興味を育むものとなったことを願っています。

六甲山YMCAは将来的にGlobal Learning Center として活動していく準備をしていますが、参加した人たちだけではなく、それを担うインターン生にも十分な学習経験やトレーニングを提供していく場所となることを願っています。



海外インターンシップ生インタビュー

6月から大阪YMCAに海外よりインターンの学生24名が来日して、英語幼稚園天王寺園や松尾台・しろがね幼稚園、阿南、紀泉、六甲山などさまざまな現場で活動しました。

今回は松尾台幼稚園で活動した、香港からのインターンシップ生4人へのインタビューを報告します。

Q この2ヶ月でどのようなことを学びましたか？

A ◆ 教育に情熱を持って関わる姿を目にして、香港との考え方の違いを感じました。一人ひとり発達や成長の仕方が違うことを理解し、関わっていくことの大切さを感じました。

◆ 幼児期に勉強だけでなく、遊びの中で自ら学ぶことがたくさんあると感じました。自分が子育てをする時には勉強だけでなく、遊べる環境を作ってあげたいです。遊びの中で友だちと関わって、人間関係の形成の仕方を学んでいくことは子どもにとって良いことだと思いました。

Q 今後今回の経験を香港での生活にどう活かしていきますか？

A ◆ 日本に来た当初は言葉の壁もあり不安でしたが、皆さんに親切にしてもらい、とても嬉しかったです。香港に戻ったら、他の国から来た方に親切にして、気にかけてほしいと思います。

◆ 香港の職場では、人間関係はほぼ働くだけの関係で、相手の気持ちまで気にかけることは少ないです。日本のように今相手がどんな気持ちなのか考え、相手を気遣える人になりたいです。



Q この2ヶ月、どのような心の成長がありましたか？

A ◆ 香港の家族や友だち、食事が恋しくて寂しい気持ちになったこともありましたが、嬉しいこともあり、なんとか乗り越えることができました。子どもたちも慣れて、名前を呼んでくれ、関わろうとしてくれることがとても嬉しかったです。その度に、またエネルギーが湧きました。

◆ 来る時には不安がいっぱいで長いと思いました。2ヶ月過ぎてよかったです。もし1ヶ月で帰っていたらやっと慣れたところで帰ることとなり、その後に感じた喜びがなかったら学ぶことも少なかったと思います。

◆ 言葉が通じないことに一番億劫になっていましたが、お互いに知ろうとしてコミュニケーションをとることはすごくいい経験でした。子どもたちからたくさんエネルギーをもらい様々なことを乗り越え、心も成長できました。

Q 香港に戻ってからの抱負を一言お願いします。

A ◆ 日本の家庭での子育てにとっても興味を持ちました。母親が子どもたちを様々な面でケアし、子どもの成長を促し、幼稚園が終わってから友だちの家に行きコミュニケーションをとれる場を提供しています。子どもの将来を見据えた関わりを幼児期から大切にしている姿を参考に、自分自身もそのような母親になれるようにこれからも学んでいきたいです。

◆ 子どもだけでなく、大人同士も気遣い合う姿は素晴らしいと思うので、香港でもそうしていきたいです。今後の経験は全てにおいて自分の人生の新しい道になると思います。日本語の勉強も続けたいです！

【インタビューにご協力いただいたインターンシップ生】

Lam Ho Yanさん、Wong Wai Yanさん、
Kwok Hiu Chingさん、Tam Sze Tingさん

【聞き手】

YMCA松尾台幼稚園 スタッフ 山地、秋田(通訳)



Springfield College 大阪YMCA来訪

7月20日(日)、アメリカのマサチューセッツ州よりスプリングフィールド大学のクーパー学長が大阪YMCAを訪問されました。スプリングフィールド大学はバスケットボールの発祥の地であると同時に、その前身はYMCAスタッフの養成校であり、古くからYMCAとの関係があります。本格的な近代バスケットボールが近畿地方に伝わってから今年で100年を迎えるのを記念して、今回のクーパー学長の来日が実現しました。当日はクーパー学長と大阪YMCA末岡総主事との間で、今後スプリングフィールド大学と大阪YMCAが、さまざまな人的交流やプログラムの交流を進めていくことを確認するための「友好の書」が交わされました。

また、同日行われていたバスケットボール大会の小学生メンバーとボールのサインや記念撮影を行い、交流のひと時を持ちました。



チェンジメーカーの育成 —世界YMCA大会に参加して—



大阪YMCA国際専門学校
国際学科 学科長 小ばやし なおき
小林 直樹



6月29日(日)～7月5日(土)、アメリカコロラド州にあるYMCA of the Rockiesにて第18回世界YMCA大会が行われました。4年に一度開かれている大会で、世界83の国と地域から約1300人のYMCAスタッフ・ボランティアが集まり、様々な学びや交流が行われました。

日本からは28名、大阪YMCAからはランゲージセンターの上床スタッフと私の2名が参加致しました。

今回のテーマは'Empowering Young People'。若者こそがYMCAの主役であるというメッセージが大会全体に表現され、参加者一人ひとりがそれを実感することができました。その最たるものがGroup Sessionというプログラムです。グループに分かれ、これからのYMCA運動のあり方について意見交換をし、最後に全体発表で各グループのアイデアを具体化しました。その進行役を担ったのが世界から選ばれた220名のChange Agentと呼ばれるユース達です。日本からも2名が参加していました。

私は前回の香港大会と2大会続けて参加し、前大会と比べて、世界YMCA同盟が参加者一人ひとりの声を聴き、自らがYouth Empowerment活動の推進役となる意識を持ってもらおうとしていることを強く感じました。大阪YMCAのVISION2020に掲げられている「チェンジメーカーとなる青年の育成」はまさに世界YMCA同盟が目指していることです。高校生事業に携わる者として、ぜひYouth Empowermentを推進していきたいです。



YMCA 大阪YMCA大会2014のご案内 第1報

開催日時 | **2014年11月29日(土)**
14時開始

開催場所 | **大阪YMCA会館(土佐堀)**

大会の概要

- 第一部 ■開会宣言 ■会員表彰 ■キーノートスピーチ
■全体記念撮影
- 第二部 ■大阪YMCA活動報告

つながる! 大阪YMCAが長年にわたって行ってきたボランティア活動を紹介しながら、過去と現在をつないでいきます!

- ・チャリティーランとそこでつながる各活動を全て紹介
- ・学校教育の現場で頑張っているボランティアOB/OGとの語り合い
- ・あなたのYMCAにいるスーパーボランティアさんの紹介

ひろがる! 新しく展開しようとしている大阪YMCAの活動を紹介しながら、現在を未来へとひろげていきます!

- ・Uni-Y設立の動き
- ・チャレンジ130とファンドレイジング
- ・Global Learning Centerの展開



ボランティア大募集! 以下の働きで大会を支えるボランティアを募集します!楽しく大会を盛り上げましょう!

ICTボランティア

- ① 映像・撮影 (デジタルカメラ、ビデオカメラ)
- ② ICT機器操作 (iPad、PC、プロジェクター、電子ボード)
- ③ 動画配信 (Webカメラ)
- ④ ICT特設ブース対応 (PC、iPad)

- ◆①～④各2～3名くらい ◆②、④以外はICT知識がなくても大丈夫です!
- ◆もちろんICT知識、カメラ・撮影知識のある方は大歓迎!!
- ◆事前オリエンテーション実施します。◆準備から参加していただきます。
- ◆大会を支え、盛り上げるさまざまなアイデアもお待ちしております。

お問い合わせ 大阪YMCA本部事務局ICT推進室【TEL】06-6441-0894(担当 船戸)



第20回! 今年は種目に「ファミリー・キッズラン」が加わりました!

大阪YMCAチャリティーラン 2014 開催のお知らせ

障がいのある子どもたちがキャンプ、水泳、体育などを通じて心豊かに成長することを支援する「大阪YMCAチャリティーラン」は、多くの皆様のご支援、ご協力のもと、今回20回目を迎えることができました。

みんなが共に幸せに生きていける社会をめざし、一緒に走り、応援し、楽しみましょう!

チャリティーランへのご参加に際してのご寄付は税額控除の対象となり、集まりました支援金は大阪YMCA障がい児・者支援プログラムの実施に大切に用いさせていただきます。

チーム・運営ボランティア・走者支援スポンサー募集中!

詳細は

大阪YMCA チャリティーラン2014

検索

お申込み

<http://www.osakaymca.or.jp/volun/charirun2014.html>

上記URLより、エントリーフォームに入力していただくか、上記URLより申込書をダウンロードの上、EmailまたはFAXにてお申込ください。

お問い合わせ

大阪YMCAチャリティーラン事務局 TEL 06-6441-0894
FAX 06-6445-0297 E-mail chari-run@osakaymca.org

日時 **2014年10月13日(月・祝)**

会場 **長居公園外周・自由広場**

チャリティーラン
オリジナル
Tシャツ販売中!



大阪YMCA早天祈禱会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAの様々な場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かちあう恵みの時としています。

第257回

日 時…………… 2014年9月19日(金)7:30～8:30

証 し…………… 北野 瑞季さん(YMCAサンホーム スタッフ)

場 所…………… 大阪YMCA会館 10階 チャペル

問合せ 大阪YMCA 本部事務局 総務

【TEL】06(6441)0894 【E-mail】info@osakaymca.org



離乳食について

にしかわ
YMCAとさぼり保育園 スタッフ 西川 さおり

現在とさぼり保育園には0~5才児まで97名の子どもたちが在籍しています。1~5才の子どもたちは幼児食、0才児の子どもたちは離乳食を食べています。

私たちは毎日の食事で、食べものを口に運び噛み砕き飲み込みます。しかし、生まれてすぐにはこのような行為はできません。赤ちゃんは母乳やミルクを飲んで過ごし、成長するに従い離乳食へと移行していきます。この期間は今まで吸うことしかできなかった子どもが、ドロドロのペーストから、舌や歯茎で潰せる固さを経験して、食べものを噛むことを覚え発達することで食の自立へと向かっていきます。

最近はベビーフードの充実により「やわらかすぎる」「濃いめの味」に慣れてしまい、本来の野菜やだしの旨味だけでは食べられなかったり、やわらかいものばかりで噛む力がつかなかったり、離乳食を進められず壁にぶつかるともあります。そのときは決して無理せず立ち止まり、食べることが楽しいと感じる環境づくりが大切です。

とさぼり保育園の0才児クラスでは、毎月保護者の方に離乳食シートを記入していただき、個人に合わせて対応しています。保育園ではじめての給食は保護者の方も一緒に食べ、味付けや固さを見ていただいています。

また、子育て支援センター「ぶどうの木」では毎月食事相談の日を設けており、栄養士が地域にお住まいの保護者の方たちの離乳食の悩みや食事で気になることに答えて、少しでも不安を解消するお手伝いをしています。



ユースリーダー安全支援金寄付者

ご協力に感謝申し上げます。 第1回報告(2014年7月度)順不同

- | | | | | |
|--------|---------|--------|--------|--------|
| 幡田 真衣 | 粕谷 和彦 | 小池 晃 | 浜口 真理 | 奥田 時夫 |
| 盛矢 紗衣 | 長野 靖子 | 畠平 剛志 | 杉原 知恵 | 灰谷 陶夫 |
| 石上 直美 | 長谷川 雄大 | 矢島 律子 | 上田 裕子 | 岩田 晋 |
| 濱添 吉生 | 大岡 亜希子 | 田中 真一 | 田村 麻衣 | 牧口 光 |
| 高岡 正明 | 堀 真由美 | 松岡 慶一 | 河合 美保 | 小島 英恵 |
| 山内 淳子 | 小西 雄希 | 後藤 さやか | 浜野 昌保 | 松野 時彦 |
| 松野 匡子 | 岸下 幸美 | 横山 伊津子 | 田宮 芳光 | 増田 淳子 |
| 隅田 薫 | 三木 求 | 牧村 昭一 | 大屋 智子 | 笹倉 圭司 |
| 松坂 佳江 | 吉村 佐知子 | 衣畑 恒子 | 前田 薫 | 甲斐 克司 |
| 福井 来香 | 堀井 祉文子 | 木村 弘子 | 妹尾 直子 | 森井 すみ子 |
| 菅 まどか | 神谷 尚孝 | 勢井 智子 | 末岡 祥弘 | 上山 恵美子 |
| 豊田 万由美 | 今井 利子 | 川口 彰範 | 尾北 昇 | 梅田 正俊 |
| 平井 あつ子 | 遠藤 通寛 | 小川 明彦 | 藤岡 侑子 | 瀬端 武男 |
| 橋本 啓 | 飯沼 眞 | 篤田 雅広 | 河野 美佳 | 匿名 |
| 菅田 斉 | 猪瀬 正雄 | 大山 弘美 | 美濃出 咲子 | |
| 並木 聡子 | 松野 五郎 | 川口 萬知子 | 貝 容子 | |
| 岡本 泰宏 | 中久木 康弘 | 立和 名房子 | 小野 勲紘 | |
| 杉原 育夫 | 中久木 達哉 | 岩下 寛子 | 脇本 博 | |
| 鶴川 まり子 | 中久木 優子 | 石橋 彩実 | 清水 汎 | |
| 高柳 沙月 | 中久木 知子 | 鮫嶋 知子 | 條 イサヨ | |
| 橋本 恵典 | 西川 勝久 | 高橋 京子 | 豊島 正利 | |
| 谷口 京子 | 鈴木 えみ | 吉田 由美 | 牟 大盛 | |
| 山崎 操 | 古家 淳 | 吉岡 香代子 | 藤岡 宏樹 | |
| 森井 稔輝 | 中村 佳代 | 杉浦 眞喜子 | 櫻本 高廣 | |
| 濱野 慎也 | 内山 雅文 | 渡辺 宏子 | 村井 達司 | |
| 石井 種男 | 沢谷 明 | 竹島 清二 | 石橋 ルキ | |
| 蒲田 泰宏 | 東 良學 | 奥田 源治 | 岩原 義則 | |
| 吉田 清三 | 山口 肇 | 島 保 | 福永 勝 | |
| 森本 榮三 | 山口 守雄 | 大柏 征二 | 福島 眞一 | |
| 萩原 義明 | 惠美奈 博光 | 井戸 義郎 | 丹吾 礼 | |
| 伊藤 正尚 | 惠美奈 富紀子 | 古林 弘子 | 北村 詔四 | |
| 栗田 達夫 | 松本 武彦 | 国津 香織 | 水口 美里 | |
| 金田 恒 | 松本 三枝子 | 比嘉 幸 | 岡野 泰和 | |
| 加藤 真尾 | 鷲谷 糸津子 | 山根 勝良 | 工藤 義正 | |
| 三牧 勉 | 鈴木 良洋 | 碓井 恵美子 | 今村 一之 | |
| 山崎 憲 | 鈴木 璋三 | 上田 和實 | 今村 良子 | |
| 岡村 千陰 | 松下 広子 | 葛島 路子 | 永井 温子 | |

会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。 2014年7月度報告

【新規会員】

- | | | | | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 赤澤 瑞穂 | 中西 千尋 | 荒屋 めぐみ | 大塚 由美 | 川良 昌宏 | 佐藤 裕幸 | 竹野 華 | 西川 泰行 | 堀 有輝子 | 山上 実海 |
| 秋本 久美 | 西山 愛実 | 東里 英実 | 大西 可奈子 | 菅 まどか | 佐藤 政樹 | 竹野 寛美 | 西村 耕 | 前田 彩実 | 山内 淳子 |
| 東 雄人 | 新田 展子 | 池田 聡美 | 大野 真由美 | 菅田 斉 | 鮫嶋 知子 | 田尻 忠邦 | 野口 賢太郎 | 前田 薫 | 山口 恭平 |
| 伊佐 あゆみ | 野村 卓史 | 池田 博人 | 大橋 昌美 | 岸下 幸美 | 澤野 準司 | 只野 未来 | 野崎 沙織 | 松尾 朋巳 | 山口 守雄 |
| 猪之間 冨香 | 橋本 彬 | 池田 ゆかり | 岡田 加奈子 | 木田 泰之 | 四方 陽子 | 立山 英展 | 野田 寿加子 | 松尾 圭悟 | 山佐 亜津子 |
| 大屋 智子 | 花本 西 | 石川 慶子 | 岡村 貢 | 北澤 圭太郎 | 重信 直人 | 田中 厚至 | 橋本 啓 | 松川 晟可 | 山下 奈奈 |
| 尾崎 夏菜 | 浜松 尚樹 | 石田 恵理 | 岡本 久美子 | 北野 瑞幸 | 高岡 正明 | 田中 和也 | 橋本 恵典 | 松田 久瑞 | 山田 郁恵 |
| 川上 裕己 | 原田みな美 | 石橋 彩実 | 岡本 泰宏 | 桐原 拓 | 島崎 幸子 | 田中 眞一 | 橋本 直樹 | 松坂 佳江 | 山田 久瑞 |
| 北方 千晶 | 東浦 巧 | 石橋 真平 | 小川 明彦 | 葛島 経生 | 下村 健太 | 田宮 芳光 | 長谷川 真穂 | 松田 有希子 | 山田 弥栄子 |
| 北口 千尋 | 平岡 あずさ | 磯野 恵子 | 尾北 昇 | 國津 香織 | 小村 崇史 | 田村 麻衣 | 長谷部 一義 | 松野 匡子 | 山地 弘伸 |
| 工藤 健気 | 福島 眞一 | 伊藤 鉄矢 | 小島 英恵 | 久保出 敦子 | 下路 清一 | 丹吾 礼 | 濱野 昌保 | 松野 時彦 | 山辺 聡子 |
| 窪田 正道 | 福永 晶太 | 井上 加奈 | 小原 早代里 | 神前 順次 | 神内 柚菜 | 月川 智宏 | 松本 祐香史 | 松本 由樹 | 山本 和美 |
| 桑原 徳一 | 藤原 学 | 今井 裕 | 甲斐 克司 | 神島 由美子 | 高岡 祥弘 | 津田 晃男 | 松本 由樹 | 丸尾 欽造 | 山本 信太郎 |
| 小武家 由帆 | 古川 恵人 | 岩井 利早 | 貝 容子 | 高鶴 佐智子 | 寺岡 進 | 寺下 祐子 | 丸尾 欽造 | 峯本 恵子 | 横山 まどか |
| 小山 翔子 | 松尾 咲 | 岩下 寛子 | 加賀屋 侑里 | 河野 美佳 | 杉原 育夫 | 堂本 隆子 | 林 博彦 | 峰山 希 | 吉田 亜衣 |
| 齋藤 郁恵 | 松本 好史 | 岩永 和子 | 加志 勉 | 小平 夢子 | 杉村 徹 | 徳田 恵美 | 原田 悠 | 伴野 真弓 | 吉田 絵理 |
| 齋藤 有紀子 | 丸岡 郁美 | 上嶋 咲子 | 梶 真子 | 児玉 友梨 | 杉本 恵俊 | 高澤 由季 | 徳田 恵一 | 樋上 恵一 | 吉村 みどり |
| 四至本 裕子 | 道下 絵里左 | 上床 敦 | 鍛冶田 千文 | 後藤 さやか | 隅田 薫 | 中井 則子 | 長谷部 一義 | 三宅 はづき | 和田 榮理 |
| 志田 育夫 | 村田 大樹 | 上西 卓 | 鹿嶋 靖之 | 小西 菜々子 | 勢井 智子 | 中井 正博 | 濱添 吉生 | 三宅 玲子 | |
| 下村 真代 | 森本 けい | 上野 綾子 | 片岡 千賀子 | 小西 雄希 | 清家 球平 | 中尾 文香 | 濱野 昌保 | 宮崎 麻美 | |
| 杉野 加奈 | 山下 純平 | 上村 五月 | 片山 聡子 | 小林 直樹 | 小林 直樹 | 中川 智晴 | 松本 裕子 | 宮原 学 | |
| 高井 菜々子 | 山本 愛 | 植村 のそみ | 桂 武邦 | 小林 恵 | 近藤 麻衣 | 中久木 康弘 | 林 博彦 | 宮本 修司 | |
| 高木 麻友 | 吉田 理恵 | 魚住 秀雄 | 加藤 亜津美 | 近藤 麻衣 | 齋藤 中哉 | 仲原 成岳 | 原田 悠 | 三好 由希子 | |
| 田代 優哉 | 和田 千夏 | 鶴崎 帆波 | 加藤 さちよ | 高澤 由季 | 坂井 祐菜 | 中村 佳代 | 藤岡 侑子 | 森 雅史 | |
| 辰己 由衣 | 渡辺 葉一 | 内山 雅文 | 香留 伸太郎 | 高橋 京子 | 坂口 翠 | 中村 千春 | 二見 早紀 | 森田 涼美 | |
| 谷川 美世波 | 相澤 悠乃 | 卯津羅 陽子 | 金巻 美玲 | 高橋 優太 | 坂之上 穂子 | 中村 美紀 | 船越 将吾 | 守谷 久代 | |
| 刀禰 愛子 | 赤松 亜由美 | 宇笠 充洋 | 上宇都 恵生 | 高橋 優太 | 坂之上 穂子 | 中山 貴美子 | 船戸 輝久 | 盛矢 祥 | |
| 長澤 景 | 秋田 恵美 | 丸生 菊雄 | 河合 美保 | 高畑 美帆 | 佐古 利子 | 並木 聡子 | 古田 敏洋 | 八木 知加 | |
| 長瀬 由沙 | 秋山 健二 | 榎本 房代 | 川口 彰範 | 田川 真味子 | 佐古 至弘 | 奈良 有希子 | 古林 弘子 | 八木 恒夫 | |
| 中司 美穂 | 安達 奈生 | 大石 和秀 | 川端 康博 | 瀧中 慎介 | 大岸 弘子 | 武田 文男 | 裏 丁葉 | 矢島 律子 | |
| 中出 真裕 | 阿部 恭子 | 大岡 亜希子 | 河村 実 | 笹倉 圭司 | 大原 弘子 | 武田 龍一 | 外園 順子 | 安田 絵未 | |
| 中西 景子 | 雨堤 崇志 | 大里 由恵 | 川本 かおる | 佐藤 恵理子 | 川本 かおる | 佐藤 恵理子 | 細川 直子 | 矢野 成悟 | |

【継続賛助会員】

- 梅津公認会計士事務所
- 大阪シティ信用金庫
- 関西テレビ放送株式会社
- 鈴木美術印刷株式会社
- 積水化学工業株式会社
- 積水ハウス株式会社
- ツジカワ株式会社
- 株式会社白洋舎大阪支店
- 堀江電機株式会社
- 株式会社マングラム
- リコージャパン株式会社